



東北支店 青森営業所
野呂 一雄

「イカの街はちのへ」に JFL (日本サッカー協会) 公認スタジアムを含むサッカー場2面 (人工芝: 1面、天然芝: 1面) 及びそれに付帯する施設を新設する工事でした。実工期が約1年間で建築・電気・設備等、業者間との調整が最大のポイントでした。この施設を工期内に完成させる思いは皆同じで、日々奮闘したことを思い出します。施設メイン通路には、「レインボーエコブロック Biz (小松精練共同開発)」を変更設計に組み入れ、環境に配慮したスタジアムを提案し、発注者・地域住民・施設運営者に喜ばれています。

オープニングゲームでは地域住民及び多くのサポーターで賑わい、その時は八戸市の震災復興のシンボルを完成させた達成感と喜びを感じました。



NPO法人
八戸市サッカー協会
理事長 嶋脇 洋三様

八戸市民待望のサッカースタジアムが完成したことで、地区の活力が創出され速やかな復興を図れました。また、緊急時の津波避難施設として、地域住民が安心して生活できる環境が整備されました。天然芝球技場では青森県中・高等学校体育連盟の決勝戦、人工芝球技場では小学校の県大会も開催され、今後は、幼児から大人までスポーツを楽しむ場として期待されます。サッカー場の建設に尽力された工事関係者の方々に対し大変感謝しております。



東北支店 青森営業所
伊藤 伸

この規模の現場は初めてで、現場の一員として少しでも力になれたことを誇りに思います。また、ご協力いただいた地域の皆様・現場の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。



(株)ヴァンラーレ八戸
代表取締役
細越 健太郎様

サッカー専用スタジアムとして建設されたダイハツスタジアムでは、ヴァンラーレ八戸トップチームの選手をはじめ、子供から大人まで、日々生き生きとサッカーやラグビーなどのスポーツをする姿が見られます。この施設が復興のシンボルとして地域に根つき、八戸市民の皆様はもとより近隣の皆様にも愛される施設となりますよう、心から願っております。



日本体育施設(株) (協力企業)
稲端 剛

緑のピッチで最高のパフォーマンスが発揮できるよう、芝の特性を生かしたピッチとなりました。地元スポーツ振興に貢献できたことを嬉しく思います。



ヴァンラーレ八戸FC
監督 柱谷 哲二様

ダイハツスタジアムは、人工芝と天然芝のツインフィールド、どちらの芝も大変素晴らしく、選手がプレーしやすい環境が整っています。このサッカー専用の施設があるということが、私が今のチームに来た理由の一つです。この地域でサッカーする全ての人に愛される施設であってほしいと思います。



オープニングゲームでサポーターや地域住民で満員となったスタジアム